



関西学院大学リポジトリ

Kwansei Gakuin University Repository

榎本悟教授退職記念号に寄せて

著者	丸楠 恭一
雑誌名	国際学研究
巻	6
号	2
発行年	2017-03-30
URL	http://hdl.handle.net/10236/00025602

榎本 悟教授退職記念号に寄せて

榎本悟関西学院大学教授は、2010年4月関西学院大学国際学部開設と同時に教授として就任され、2017年3月末に定年退職を迎えられました。

榎本教授は1971年に神戸大学経営学部をご卒業後、同大学院経営学研究科修士課程を修了、博士課程単位取得退学と同時に小樽商科大学商学部にて講師として着任されました。その後、米国・ミシガン州立大学留学等を経て、1978年には同大学助教授に昇任され、カナダ・ヨーク大学留学等を経て、1987年には徳島大学総合科学部助教授、さらに1990年には岡山大学経済学部助教授にご就任されました。翌1991年には同大学教授に昇任され、1993年には岡山大学大学院文化科学研究科ご担当となられたのち、1997年には広島大学経済学部及び同大学院社会科学研究科に着任され、同研究科マネジメント専攻において専攻長をお務めになりました。2003年には再び岡山大学経済学部にて転じられ、副学部長、学部長を務められ、2005年には北海道大学より博士（経営学）の学位を授与されたのち、2010年本学教授に就任され、現在に至っております。

学会活動においては、日本経営学会、組織学会、日本カナダ学会、多国籍企業学会、中四国商経学会、国際ビジネス学会、経営史学会、などに所属され、国際ビジネス学会では理事も務められるなど活躍されました。また社会活動においても、岡山経済同友会はじめてとして諸機関・団体との多岐にわたる活動を続けてこられました。

学術研究活動においては50編以上の学術論文をはじめとして旺盛な研究活動を永年にわたって継続され、経営戦略、国際ビジネス、多国籍企業論、経営史等、経営学分野における幅広い分野にわたる業績を重ねられました。とりわけカナダ日系企業の研究においては、数度にわたる現地調査に携わり、多大の学術的貢献をなされてまいりました。教育面においては、小樽商科大学、徳島大学、岡山大学、広島大学及び本学におけるご指導を通じて多数の学生を社会に送り出しました。また岡山大学及び広島大学において多数の大学院生をご指導されました。

このように榎本教授は学内外にわたり、長年研究・教育において多大な貢献をなさってこられました。このたびのご退職にあたり、国際学部としての謝意を表すために、この記念号を発行することとなりました。記念号の趣旨に賛同してご寄稿いただいた学内外の執筆者の方々、また編集の労をお取りいただいた国際学研究編集委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

最後に、榎本悟教授のご健康と今後のご研究がいつそう発展することを念じつつ謝辞とさせていただきます。

2017年3月吉日

国際学部長 丸 楠 恭 一